

(活動報告書様式)

団体名	ナリワイ × ikigai プロジェクト		
事業名	ナリワイ × ikigai プロジェクト		
助成事業区分	協働助成事業 (テーマ希望型) 【テーマ：やまがたまちづくり活動支援事業】		
団体の 所在市町村	鶴岡市	事業費	977, 173 円
		うち助成金額	809, 390 円

■事業目的

このプロジェクトでは、子ども世代、孫世代などの若者世代との交流を取り入れながら、シニア世代の、個人の「好きなこと」、様々な経験からの「得意なこと」、多様化複雑化する地域課題の「求められること」に加え「役に立っている相手からの対価」を考察し、シニア世代の新しい生きがい[ikigai]をつくる講座の企画運営を行いました。特に役に立っている相手である若手からの視点として、地域づくりに関心のある若者からの意見を活用する。シニア世代と若者世代が多様性を認め合い、学び合う場をつくり、主体的にまちづくりを行う人材を育成する。

■実施内容

○いきいきと活躍して社会と積極的な関わりをもちたいと願うシニア世代の生きがいをテーマに、説明会ワークショップを8月に3回(7, 20, 26日)、実施し、4名が参加した。
○参加者：本講座は9月から11月に亘って6回(9/14, 28, 10/12, 26, 11/9, 30)実施し、庄内地域の3名(50~70歳代の男女)が参加した。
○スタッフ：ワークショップ

の運営メンバーとして20歳代と30歳代のスタッフが参加し、生きがいの実現のために意見を交わし合い、対話を通して資料づくりをサポートし、資料作りや企画書などを一緒にまとめた。

○場所：コワーキングキッチン花蓮

○生きがいテーマ

1 外内島きゅうりを未来につなぐプロジェクト

「心地よい苦みとほのかな甘みを子どもたちへ」

2 新しい循環型社会研究所
「みんなで考えよう、ゴミを出さないリサイクル」

3 わたしの町、酒田でがん患者サロン

「ほっと一息つける空間を」

○シニア世代が地域活動・まちづくり活動を「商品化・サービス化の意識をもって、自分自身の思いを言葉にすることで若者と協働してプロジェクト化することで双方にとって地域で活躍する人材育成の機会となった。

○フォローアップ講座として2月26日に全員再会し、11月の生きがい発表プレゼンテーションの動画を編集し皆で、近況と課題を話し合い、まちづくり活動の最初のステップを意欲的に踏み出せた。

■事業の成果及び今後の展望

・20代から70代の世代間のダイバーシティを实践する対話の場でプロジェクト資料を協働でまとめることができ、シニアの参加者にとって想いを整理することができた。

・生きがいをテーマに地域課題の解決につながる個人の活動を世代間交流で支援し合うワークショッププログラムの骨格ができたことで、今後も継続的に募集していきたい。

・持続可能な取り組みとしていくためには、まだワークショップ参加に感染症等の懸念がある中で、少人数の参加費だけで活動費を全額賄うことは難しく、サポートスタッフをボランティアで募ることに依存しない対策が課題だと考えている。

